

イサム=ノグチ 造形家。アメリカで生まれて地位を確立、精神的に日本帰し、庭園ほか傑作を創り続けた。

いさむのぐち

日露戦争始・1904 = アメリカのロサンゼルスで詩人野口米次郎の子に生まれる。母はアメリカ人小説家レオーニ・ギルモア。
日露戦争終・1905 = 1歳：
満鉄発足・1906 = 2歳：父の帰国に従い、日本に移り住む。

日本の学校のほか、イエズス会派の学校に通う。

明治天皇没・1912 = 8歳：
大正政変・1913 = 9歳：

本格政党内閣1918 = 14歳：単身アメリカのインディアナ州のインターラーケン・スクールに送られ、同スクールが軍のキャンプとなつたため、校長ラムリーの斡旋で、公立のハイスクールに通うとともに、彫刻家ボークラムの助手になった。この時点では、ボークラムはノグチが彫刻家なることはない判断している。

原敬首相暗殺1921 = 17歳：

水平社結成・1922 = 18歳：

関東大震災・1923 = 19歳：母が日本から帰国。コロンビア大学に入学して、医学を学ぶ一方、レオナルド・ダ・ヴィンチ美術学校で彫刻クラスを履修。校長に励まされ、彫刻家なることを決意。

治安維持法・1925 = 21歳：伊藤道郎と出会い、大きな影響を受けた。

金融恐慌・1927 = 23歳：グッゲンハイム奨学金を得てパリに渡り、ブランクシーの助手を2年つとめ、A.コールドーやジャコモメッティと知りあった。

世界恐慌・1929 = 25歳：ニューヨークへ帰り、最初の個展を開く。バックミンスター・フラーと出会い大きな影響を受けた。生計のために肖像彫刻を制作し、好評。

海軍軍縮条約1930 = 26歳：パリから、北京、

満州事変・1931 = 27歳：続いて日本に行き、京都で陶芸を学ぶなどするが、満州事変により、即座にニューヨークに戻る。

国際連盟脱退1933 = 29歳：生涯のモチーフのもととなった「鋤のためのモニュメント」を制作。以降、ニューディール政策による、さまざまな公共空間の設計に参加するが、実現せず。事業計画案や社会的意味をもつ作品を展示。

芥川直木賞始1935 = 31歳：*最初の舞台装置「フロンティア」を制作、見るものに衝撃をもたらした。メキシコを訪問、

二二六事件・1936 = 32歳：芸術家同盟の機関誌に「彫刻はどうなっているか」という論文を書いた。

日中戦争始・1937 = 33歳：ニューヨークに戻る。

健保+総動員1938 = 34歳：最初の噴水「フォード・ファウンテン」を制作。AP通信ビルのレリーフのコンペで1等、以来受賞多数。

第二次大戦始1939 = 35歳：アーシル・ゴークーと共に活動し、大きな影響を受けた。

大政翼賛会・1940 = 36歳：

日米開戦・1941 = 37歳：

.....1942 = 38歳：

日米開戦後の日本人排撃の中で、自ら志願して、一時強制収容所に入所。発光作品の制作。家具とランプをデザインし、大手の家具会社から販売される。特に「あかり」は生涯を通じて取り組まれ、また、世界的に評価された。

敗戦・.....1945 = 41歳：

新憲法公布・1946 = 42歳：ニューヨーク近代美術館の"14人のアメリカ人展"に選ばれる。

新憲法施行・1947 = 43歳：ストラヴィンスキーらとの共同制作「オルフェウス」は演劇生活で最高のものであった。

極東裁判決・1948 = 44歳：アーシル・ゴークーが自殺、衝撃を受ける。

三大事件・1949 = 45歳：財団の助成を受けて、ヨーロッパ、中近東、アジアを旅行。

朝鮮戦争始・1950 = 46歳：日本訪問で、熱烈に歓迎された。長谷川三郎との過去への巡礼旅行は、大きな収穫と転換をもたらした。

独立回復・1951 = 47歳：女優の山口淑子と日本で結婚。リッターズ・ダイジェストの庭園を設計して、初めて実現。

メテ-事件・1952 = 48歳：鎌倉の魯山人の地所にアトリエを構え、焼き物を制作。展覧会を通じて、日本の多くの芸術家との関係ができ、共同制作が多数生れて行く。以後アメリカと日本を頻りに往復し、日本美術の紹介にもつとめた。

国連加盟・1956 = 52歳：離婚。鋳鉄彫刻「女」、この頃から、企業の庭園を中心に、次々と作品が実現して行く。

イスタトラマ・1958 = 54歳：パリのユネスコ本部の庭園が有名である。

美智子妃・1959 = 55歳：アルミ彫刻「セッシュウ」、

安保闘争・1960 = 56歳：ルイス・I・カーンと関わりを持ち、大きな転機となる。

TV宇宙中継始1963 = 59歳：以降、イタリアの大理石の採石場に定期的に赴く。

東京リカ・1964 = 60歳：チェイス・マンハッタン銀行、エール大学パイネック図書館の沈床園。

大学紛争始・1965 = 61歳：イスラエル美術館の彫刻庭園。一連の大理石および花崗岩の作品を展示。以後、石を用いた公共空間の彫刻も多くなる。

美濃部都知事1967 = 63歳：

霧ヶ関ビル・1968 = 64歳：ホイットニー美術館の回顧展。自伝「ある彫刻家の世界」を出版。

全共闘ビーク・1969 = 65歳：東京国立近代美術館のモニュメント彫刻「門」、

大阪万博・1970 = 66歳：大阪万博のため、噴水を制作。

ドルショック・1971 = 67歳：*四国高松市牟礼の築後200年の建物を改造して、アトリエを構え、以後、本拠とする。

この間、公共彫刻を中心に、作品が集中的に制作され、また、アメリカ、ヨーロッパ各地で数多くの個展を開いた。丹下健三の依頼でポローニャに驚くべき広場を設計し、

石油ショック1973 = 69歳：

角栄金脈辞任1974 = 70歳：日本の最高裁判所の噴水。

田中角栄逮捕1976 = 72歳：

成田衝突・1978 = 74歳：サム・ハンターによる最初のモノグラフ「イサム・ノグチ」が出版された。

革新大敗北・1979 = 75歳：デトロイトの「ホラス・E・ドッジ噴水」。ポローニャの広場が完成。

貿易摩擦問題1980 = 76歳：全作品図録が刊行される。イサム・ノグチ財団を設立し、
.....1981 = 77歳：イサム・ノグチ庭園美術館の建設に着手、自らの作品を配置して行く。

中曽根内閣・1982 = 78歳：

ディズニランド1983 = 79歳：ロング・アイランドのイサム・ノグチ庭園美術館が完成。

.....1984 = 80歳：コロンビア大学から名誉博士号。ニューヨーク州知事芸術賞、日米市民同盟隔年賞。谷口吉生から依頼による土門拳記念館の庭園が完成、建築と自然をつなぎ、思想と価値のすべてを含んだ最高傑作となった。

ジャンボ機墜落1985 = 81歳：西武美術館で磯崎新、勅使河原宏と組んで、石彫とあかりを展示、大成功をおさめた。

バブル始・1986 = 82歳：ヴェネツィア・ビエンナーレの合衆国代表。京都賞。

竹下内閣・1987 = 83歳：レーガン大統領より国民芸術勲章。

リクルト事件・1988 = 84歳：勲三等瑞宝章。彫刻優等章。没した。

アメリカ芸術アカデミー会員。

ドーレ=アシュトン「イサム=ノグチ」、